

第2 目標の設定状況と進捗状況

1. 小笠原諸島振興開発計画における目標人口及び成果目標(H26～H30)

(1) 目標人口

人口は、将来的には約3,000人を想定し、平成30年度末では、平成25年度末の人口より増加していることを目標とする。

(2) 成果目標

指標	目標 (平成30年度)	参考値	
農業生産額	1億3,170万円	平成20～24年(平均)	1億1,574万円
漁獲量	510 t	平成20～24年(平均)	504 t
年間入り込み客数※1	32,900人	平成21～25年度(平均)	29,153人
教育旅行者数	20件 1,200人	平成25年度(実績)	17件 1,179人
リサイクル率※2	50%	平成24年度(実績)	34.4%
再生可能エネルギー 発電容量※3	230kW	平成25年度末(実績)	192.5kW
総所得金額	102※4	平成21～25年度(平均)	(59億9,200万円)

※1 年間入り込み客数は、定期船おがさわら丸の乗船客のうち、島民を除き、観光や仕事・研究等での乗船者数及び定期船以外の観光客船(クルーズ船)の乗客数

※2 年間のごみの総処理量と集団回収量の合計に対する総資源化量の割合

※3 公共施設における再生可能エネルギー発電容量

※4 平成21～25年度までの平均総所得金額を100とした場合の指数

2. 各目標の達成状況

※各目標の実績は最新の集計値である。

※実績の一部は平成27年の数値であるため、() 内で参考値として示す。

●人口

平成28年度実績	目標(平成30年度)	参考
2,528人	2,493人以上	平成25年度末人口2,493人 より増加していることを目標とする。

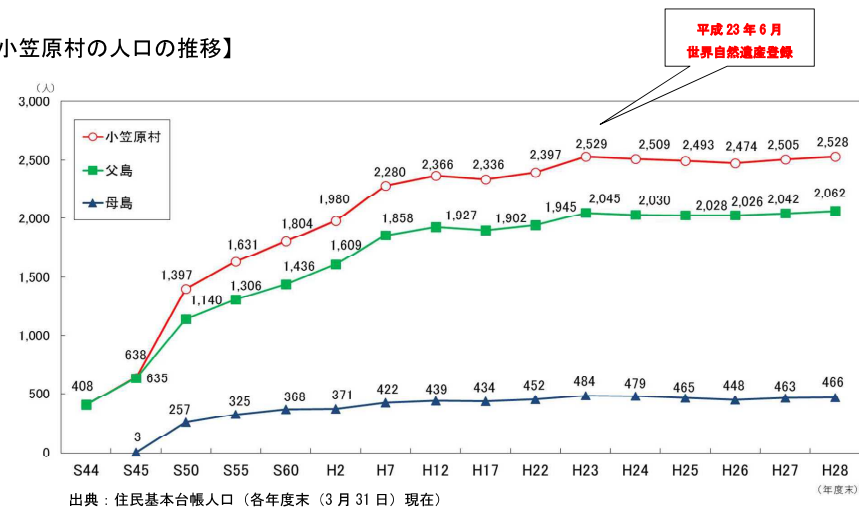
出典：住民基本台帳人口(各年度末(3月31日)現在)

※外国人は含まない。

平成29年3月31日現在の小笠原村の住民基本台帳人口は、父島と母島で2,528人。そ

の内訳は父島で2,062人、母島で466人となっている。

【小笠原村の人口の推移】



【人口の推移について】

- 日本復帰当初から平成7年度まで大幅に増加し、その後は、中長期的に微増傾向である。
- 出生率が高い※一方で、死亡率は低いため自然増がある一方、島内で治療できない疾病や生活の不安等から本土に転出するなどによる社会減もある。
- ※ 平成27年度合計特殊出生率：2.07(全国平均：1.45)
- 小笠原村の人口は、年少人口と生産年齢人口の割合が高く、老年人口割合は低くなっており、高齢化は全国に比べ緩やかに進行している。

(参考) 年齢3区分別人口割合

(単位:%)

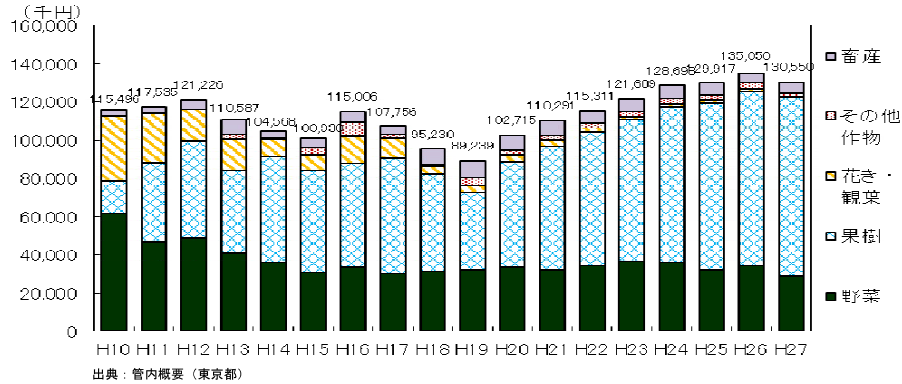
区分	年少人口 (0歳～14歳)	生産年齢人口 (15歳～64歳)	老年人口 (65歳～)
小笠原村	17.12	67.76	14.34
全国	12.74	61.00	26.25

出典：住民基本台帳人口(H28, 1.1)

●農業生産額

平成 27 年実績	目標(平成 30 年度)	参考値(平成 20~24 年平均)
(1 億 3,055 万円)	1 億 3,170 万円	1 億 1,574 万円

【小笠原諸島における農産物の種類別農業生産額の推移】



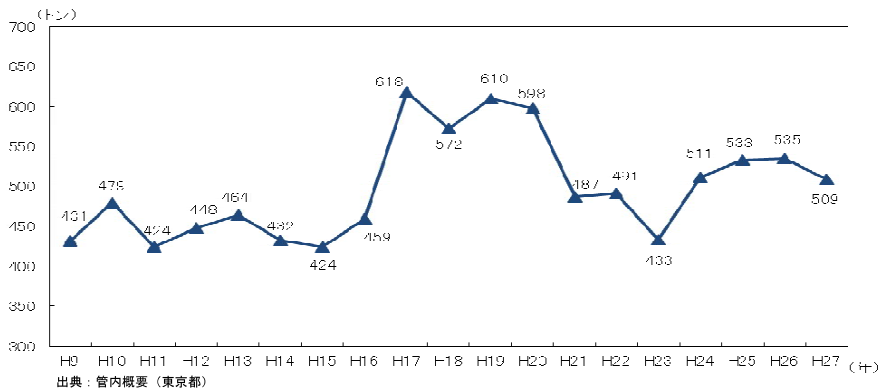
【農業生産額の推移について】

- 生産額の約 50%をパッションフルーツが占め、次いでトマト・ミニトマト、マンゴー、レモンで全体の約 70%を占めている。
- 近年はパッションフルーツを中心に果樹の生産額が好調に推移している。

●漁獲量

平成 27 年実績	目標(平成 30 年度)	参考値(平成 20~24 年平均)
(509 t)	510 t	504 t

【小笠原諸島における漁獲量の推移】

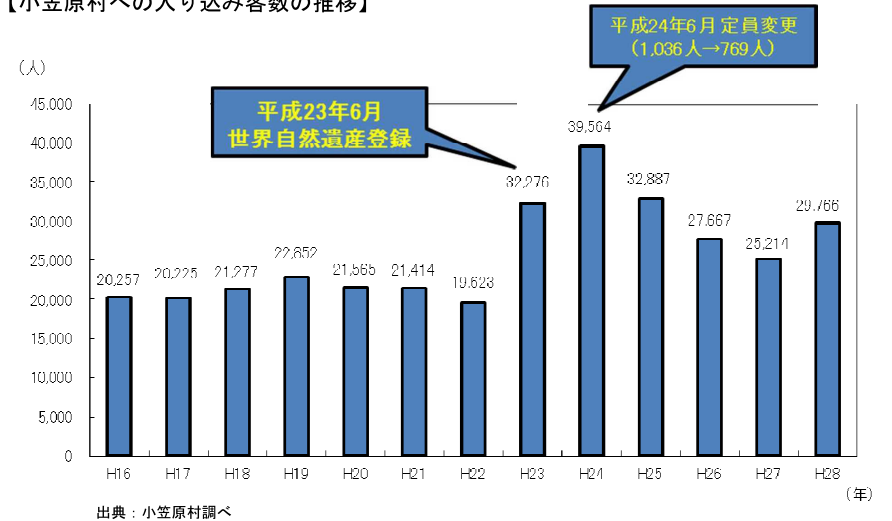


- 漁獲量の約 40%をカジキ類が占め、次いでマグロ、ハマダイで全体の約 80%を占めている。
- 平成 27 年はカジキ類及びマグロが好調であった。
- 漁獲量の見込めるカジキ類や底魚類を中心に、経営の安定化を図っている。

●年間入り込み客数

平成 28 年度実績 (推定値)	目標(平成 30 年度)	参考値(平成 21~25 年度平均)
29,766 人	32,900 人	29,153 人

【小笠原村への入り込み客数の推移】



(内訳)

(単位：人)

区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28
おがさわら丸	26,630	27,664	24,443	22,772	21,681	24,991
観光客船 (寄港回数)	5,646 (14)	11,900 (32)	8,444 (24)	4,895 (13)	3,533 (8)	4,775 (13)
合計	32,276	39,564	32,887	27,667	25,214	29,766

出典：小笠原村調べ

【入り込み客数の推移について】

- これまで 2 万人前後で推移していた小笠原村への入り込み客数は、平成 23 年 6 月の世

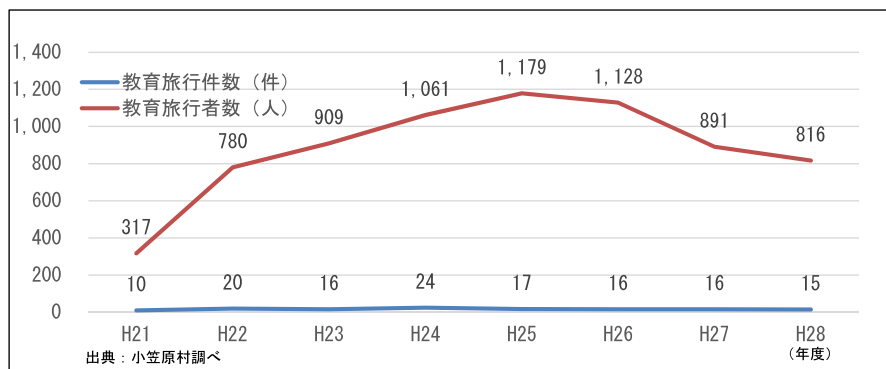
界自然遺産登録により、平成 24 年度には約 4 万人まで増加した。

- 平成 28 年度の小笠原村への入り込み客数（推定値）は、29,766 人となっており、世界自然遺産登録効果により平成 23 年度から増加した観光客は、近年、落ち着きを見せているものの、前年度より 4,552 人増加した。これは、平成 28 年 7 月に新「おがさわら丸」が就航したことが要因の一つと考えられる。

●教育旅行者数

平成 28 年度実績	目標(平成 30 年度)	参考値(平成 25 年度実績)
15 件 816 人	20 件 1,200 人	17 件 1,179 人

【小笠原村への教育旅行者数の推移】



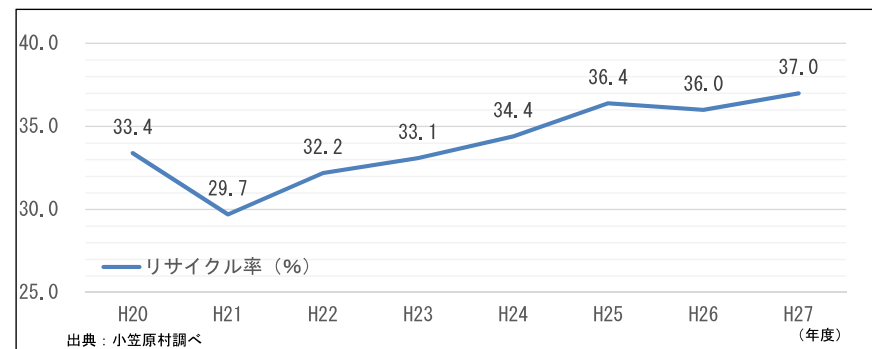
【教育旅行者数の推移について】

- 教育旅行者数は、近年下降気味であるものの、継続的な誘致活動の成果もあり、高い水準で推移している。

●リサイクル率

平成 27 年度実績	目標(平成 30 年度)	参考値(平成 24 年度実績)
(37.0%)	50%	34.4%

【小笠原村におけるリサイクル率の推移】



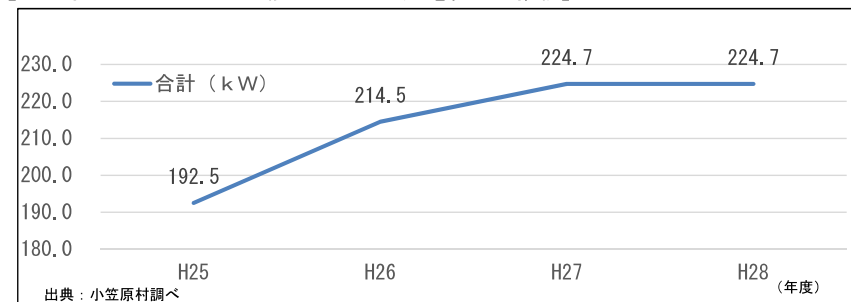
【リサイクル率の推移について】

- 紙類の分別促進等により、平成 27 年度においては 37%となっている。

●再生可能エネルギー発電容量

平成 28 年度実績	目標(平成 30 年度)	参考値(平成 25 年度末実績)
224.7kw	230kw	192.5kw

【小笠原村における再生可能エネルギー発電容量の推移】



【再生可能エネルギー発電容量の推移について】

- 平成 27 年度に新たに父島扇浦交流センターに太陽光発電設備及び蓄電池を設置（発電容量：10.2kw、蓄電容量：8.96kw）したことにより、平成 28 年度においては 224.7kw と

なっている。

(参考) 小笠原村の太陽光発電設備設置箇所

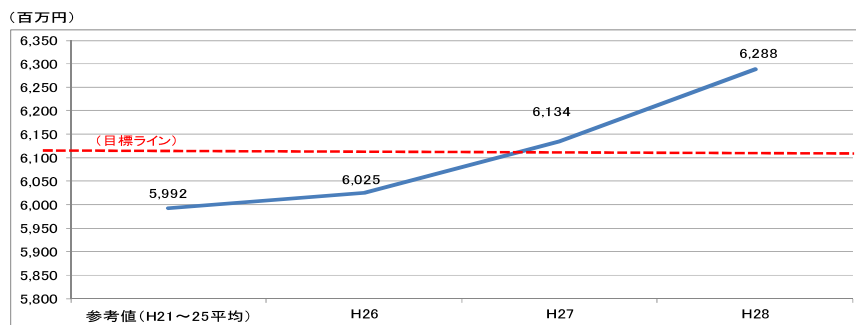
太陽光発電設置場所	発電容量(kw)
小笠原村診療所	50.0
地域福祉センター	10.0
小笠原村情報センター	5.5
都立小笠原高校	20.0
奥村交流センター	20.0
母島小中学校	50.0
母島長浜トンネル (独立)	5.0
母島ソーラーポンプ場 (独立)	32.0
扇浦新浄水場	22.0
扇浦交流センター	10.2
合計 (kW)	224.7

●総所得金額

平成 28 年度実績	目標(平成 30 年度)	参考値(平成 21~25 年度平均)
104.9	102	59 億 9,200 万円

※平成 21~25 年度までの平均総所得金額を 100 とした場合の指数

【小笠原村における総所得金額の推移】



出典：東京都調べ

【総所得金額の推移について】

- 平成 27 年度以降は、目標の総所得金額を上回っている状況にある。